

アンケート調査項目 叩き台

仮説

行政と民（専門人材、住民）との関係、公共サービスに対する評価が適切であると、公民連携が成功する。

- ・印が調査項目案

○現状確認

- ・重点的な文化・芸術施策は何か。
→文化施設管理運営、フェスティバル等の事業実施、民間文化施設への支援
- ・重点的な文化・芸術施策の概要
- ・重点的な文化・芸術施策を担当する部署の体制
→組織、職員、職員の専門性確保の方法
→計画、方針等が明確か。
→予算規模

○専門人材との関係が良好である。

⇒施設運営管理者（事業主催者）、芸術家、プロデューサー等、それぞれの能力、知見を活かせる仕組みがある。

- ・専門人材との関係の形態
→内部化、外部人材との契約等
→個人、団体（種別）
- ・計画、方針等を共有できているか。
- ・専門人材の文化・芸術施策への関与の度合い
→企画段階、実施段階、検証段階

⇒適切な制御システムがある。

- ・制御システムの有無と内容
→モニタリング、監査等
→連携のルール、基準の有無

○住民との関係が良好である。

⇒住民ニーズの的確な把握と施策への反映の仕組みがある。

- ・住民ニーズの把握と反映方法の有無
→説明会、ヒアリング、パブコメ、アンケート等
→ニーズをどう反映しているか。

⇒住民参加、協働の仕組みがある。

- ・住民との関係の形態
→整備：検討委員会等
→運営：友の会、ボランティア、市民参加企画等

○公共サービスに対する適切な評価がなされている。

⇒質を重視した評価を実施している。

- ・評価手法（内部・外部）
- ・評価主体
- ・質を評価できる指標を用いているか。

⇒分かりやすく、広く理解を得られる評価を実施している。

- ・コスト及び収入と質の評価の関係を明らかにしているか。
- ・評価をフィードバックする仕組みの有無
- ・住民の理解を得る工夫をしているか。
- ・他との比較が可能か。